

推薦図書（庶務課・岩澤）

1．宮本武蔵 吉川英治 講談社

平凡な青年が関ヶ原の戦いの後、様々な苦難を経て剣豪宮本武蔵として成長する物語。文中には「波にまかせて、泳ぎ上手に、雑魚は歌い、雑魚は踊る。けれど、誰か知ろう、百尺下の水の心を。水のふかさを。」とある。時代の大きなうねりの中で、時代の流れに翻弄されながらも、自らを見つめ、ひたむきに生きた男の物語である。

2．峠 司馬遼太郎 新潮社

時は幕末。時代の流れは薩摩、長州勢に味方し、戊辰戦争の勝敗もはや決したかに見えた。長岡という小藩の家老河井継之助が藩の命運を担っておこした北越戦争。時代の消長がほぼ決まりつつある時、それでもなお、その流れに抗ってまでも彼が守り抜こうとしたものはいったい何だったのか。自らに生き方を問う一書。

3．夜のピクニック 恩田陸 新潮社

とある高校の歩行祭。長い道のりを一昼夜かけて歩きとおすだけの行事。何の変哲もないこの年中行事に参加する3年生たち。最後の学年、最後の行事に臨む彼らの胸中に去来するものはなにか。どこか懐かしく、それでいて、ドキドキするストーリー。